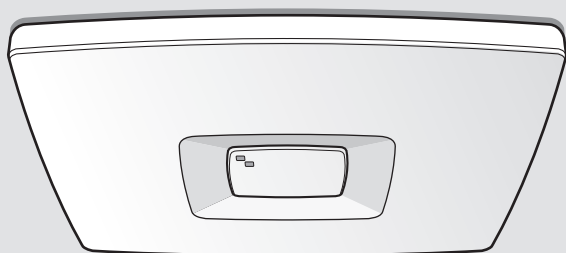


SHARP®

LEDシーリングライト

家庭用

取扱説明書



形名

ディー エル シー ブイ

DL-C503V

DL-C303V

DL-C203V

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ、正しく
お使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書(保証書付)は、いつでも見ることができ
る所に必ず保存してください。

もくじ

ページ

はじめに

安全上のご注意

必ずお守りください

各部のなまえ

- 本体
- 付属品
- リモコン
- 電池の入れかた

取り付け前の確認

- エコセンサーの方向
- 複数灯設定するときは

照明器具を取り付ける

照明器具を取りはずす

使いかた

あかりをつける・消す

- リモコンで操作する
- 壁スイッチで操作する

エコセンサー

エコ調光

タイマー機能

- 入タイマー設定
- 切タイマー設定

おやすみリズム

便利な機能

- お気に入り登録/お気に入り
- 常夜灯の明るさを調節する

必要なとき

お手入れ

仕様

- 愛情点検

故障かな？

よくあるご質問

保証とアフターサービス

- お客様ご相談窓口のご案内

裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止するため、お守りいただくことを説明しています。

■表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。



注意

「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分しています。



してはいけない禁止内容です。



必ずしなければならない強制内容です。



警告

火災や感電、けがを防ぐために



- 凹凸のある場所に取り付けない。
- 傾斜した場所に取り付けない。
- がたついたり、破損している配線器具には取り付けない。
- 本体を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものに近付けない。
(火災・本体過熱のおそれがあります)
- 被照射物と本体は50cm以下に近付けない。とくに絹、皮、布地など「色落ち」のおそれがあるものに照射する場合は注意が必要。
(被照射物の火災、変形、褪色の原因)
- 本体を改造したり、部品交換をしない。



- 交流100Vで使用する。
(過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります)
- 異常・故障時は直ちに使用を中止する。
(速やかに電源を切り、お買いあげの販売店へ点検・修理を依頼してください)
(19 ページ)
- 調光機能が付いた壁スイッチの場合、使用できませんので、一般の入/切スイッチに交換する。
- 取り付け、取りはずしや清掃のときは、必ず電源を切る。
(感電のおそれがあります)
- 煙、臭いなどの異常を感じたら、すぐに電源を切る。(感電、火災の原因)
- 本体の取り付けは、説明書にしたがい確実におこなう。(6~7 ページ)
- 本体のすき間に金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない。



注意

漏電やけがを防ぎ、家財を守るために



- 点灯中や消灯直後しばらくは、本体が熱いので触れない。
(やけどのおそれがあります)
- 屋外で使用しない。
- 金属部分をクレンザーやたわしで磨かない。(15 ページ)
(傷付けたり、サビの原因)
- 本体を洗剤や薬品などで拭いたり、殺虫剤をかけたりしない。(15 ページ)
(本体の破損、落下、感電などの原因)
- 温度の高温になるものを置かない。
(本体の下にストーブ、コンロなどの発熱物を置かないでください。火災、落下、本体の変形、LED短寿命のおそれがあります。この製品は5~35℃の温度範囲で使用するよう設計されています)
- 本体の一部が破損したまま使わない。
(落下、けがのおそれがあります)



水ぬれ禁止

- 湿気の多い場所や水のかかる場所で使用しない。
- 本体を水洗いしない。
(感電、故障の原因)



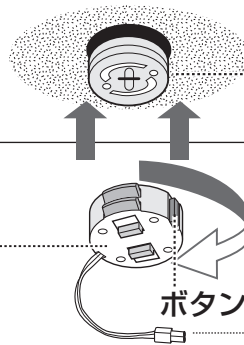
- 照明器具(本体)には寿命があります。
設置して10年経つと外観に異常がなくても内部の劣化は進んでいます。点検・交換してください。長期で使用する場合は、安全のため自主点検をおすすめします。
(15 ページ)
- アダプタを配線器具に必ず「カチッ」と音がするまで回し、確実に固定する。
(6 ページ)
- アダプタに本体を確実に固定する。
(6 ページ)
- センターカバーは確実に取り付ける。
(7 ページ)

各部のなまえ

本体

本体取付け用付属品

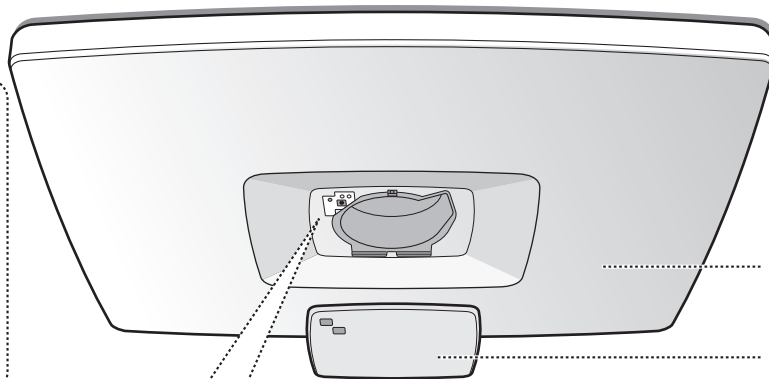
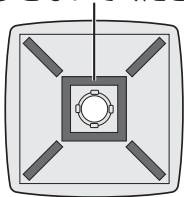
アダプタ※(1個)



配線器具
(付属していません)

※アダプタは、必ず専用(同梱)のものを使用してください。専用のもの以外を使用すると壊れる場合があります。

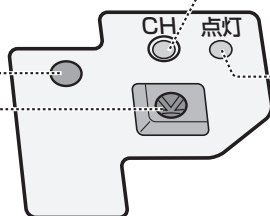
本体背面に付いている黒いスポンジは、取りはずさないでください。



本体

センターカバー

エコセンサー
リモコン受信部



CH切替ボタン

本体のチャンネルを切り替える場合に使用します。CH1/CH2が選択できます。出荷時はCH1になっています。

点灯切替・ブザー入/切設定ボタン

●[短く押す]

押すごとに、以下のように切り替わります。

→調色1 全灯→調色10 全灯→お気に入り 点灯→常夜灯→消灯
(寒色) (暖色) (明るさ:標準)

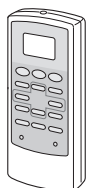
●[長く(2秒以上)押す]

押すごとに、ブザー音(リモコンの受信音)を入/切します。

「ピッ」と音が鳴ると切り替わります。出荷時は「入」になっています。

付属品

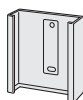
■リモコン



■電池(2本)
単4形乾電
(お試し用)



■リモコンホルダー
(1個)



■ネジ(2本)



壁などに掛けることができます。

取り付けかた

付属のネジ(2本)で止めてください。

※ホルダーに入れたままで、リモコンが効きにくい場合は、ホルダーからリモコンははずして、本体のリモコン受信部に向けてください。



■印刷物 取扱説明書

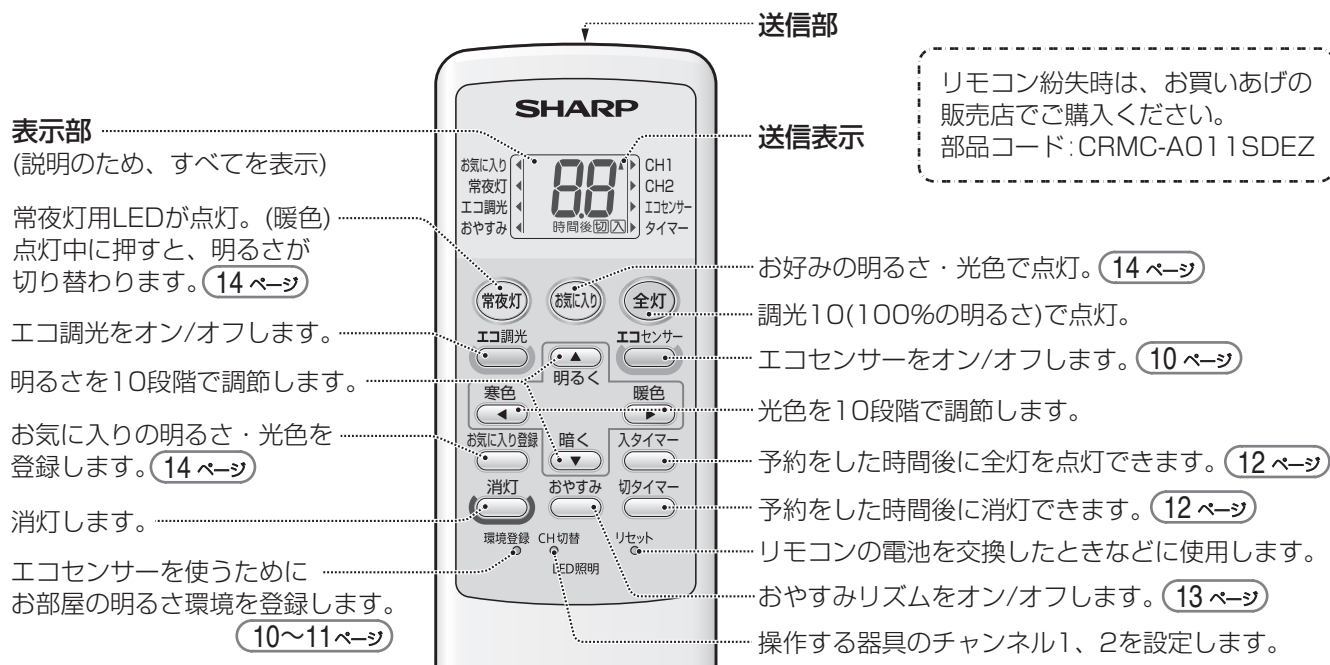
※

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はありません。

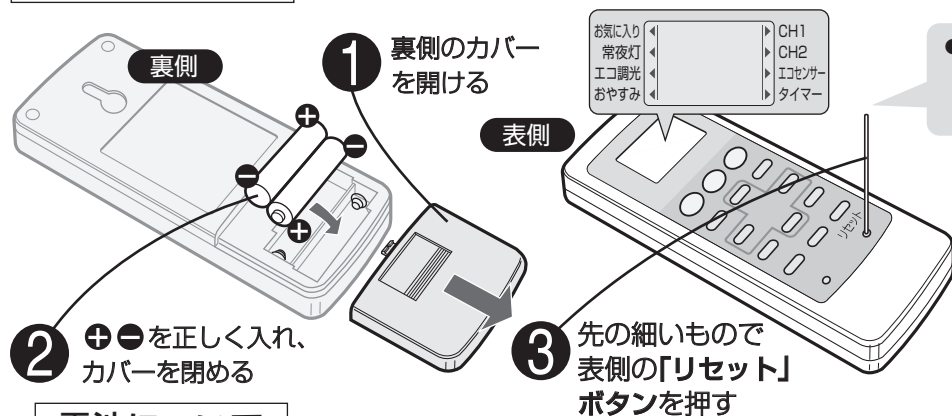
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

各部のなまえ (つづき)

リモコン



電池の入れかた



電池について

- 電池の寿命は、約1年です。(1日10回ボタン操作した場合)
使用する電池や条件により、1年未満で消耗することがあります。
リモコンの表示がうすくなったり、信号が届かないときは、交換してください。
※付属の電池はお試用です。上記よりも早めに切れることがあります。
- 電池を誤って使うと、液漏れや破裂の原因となりますので、次の点にご注意ください。
 - ・交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使う。
 - ・長期間使わないときは、電池を取り出す。(液漏れによる故障防止)
- 電池の溶液が目に入ったり、お肌や衣服に付いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

リセットについて

- リモコンでリセットをおこなっても、本体はリセットされません。リモコンを本体に向け設定し直してください。また、タイマー設定している場合は、設定時刻になるとタイマーが起動します。(ただし、壁スイッチを切らない場合)
- リモコンをリセットしたら、チャンネルがCH1 になりますので、本体のチャンネルが2になっている場合はリモコンのCH切替で、CH 2に設定してください。

(5 ページ)

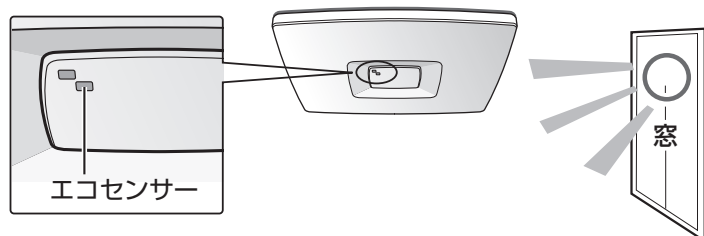
ご注意

- リモコンに衝撃を与えたり、水にぬらしたりしないでください。
また、直射日光の当たる場所、ストーブなどの近くには置かないでください。(故障の原因)
- 電子瞬時点灯方式の蛍光灯(インバーター方式、ラピッドスタート方式など)がある部屋では、信号を受け付けられないことがあります。この場合は、販売店にご相談ください。

取り付け前の確認

エコセンサーの方向

エコセンサーの位置を窓から反対側にくるように、本体を取り付けてください。(10 ページ)

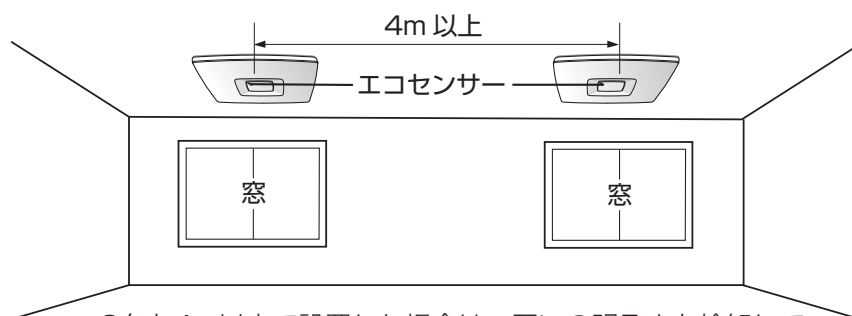


ご注意

窓の外の光を直接検知すると、設定よりも暗くなることがあります。

複数灯設置するときは

同じ部屋で2台以上設置するときは、エコセンサーを4m以上離してください。



※2台を4m以内で設置した場合は、互いの明るさを検知して、正常に動作しない場合があります。

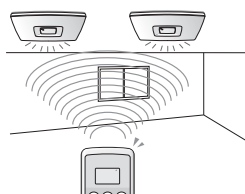
リモコンのチャンネルを設定する 複数の本体を操作できます

リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の本体が操作できます。(ただし、設置場所やリモコン操作場所によって、同時に信号が届かない場合があります。その場合は別々に操作してください) リモコンで本体を操作できないときは、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

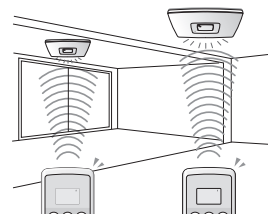
●複数の本体を同時に点灯できます。

(例)
一部屋に2台の
本体がある場合

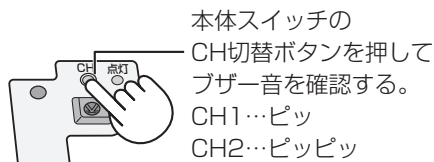


●近くの本体を干渉せずにそれぞれ単独で点灯できます。

(例)
隣室にも本体
がある場合



チャンネルの設定方法



本体スイッチの
CH切替ボタンを押して
ブザー音を確認する。
CH1…ピッ
CH2…ピッピッ

チャンネルの確認方法



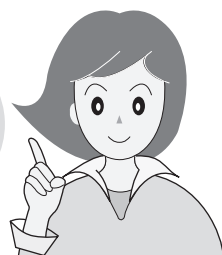
① リモコンの「CH切替」を先の細いもので押して、希望のチャンネルを合わせる。
(例 CH2)

② 本体のブザー音が「ピッ」と鳴ることを確認する。
※本体スイッチのCHとリモコンのCHが異なるときは、本体のブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。

照明器具を取り付ける

安全のために
電源を切った
状態でおこ
なってください。

「切」



取り付け手順

準備

天井に付いている配線器具を確認する。

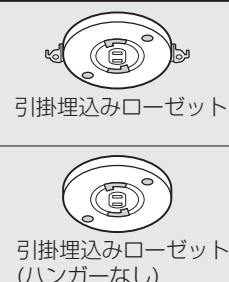
天井に右図のような配線器具が付いている場合、取り付けができます。

右図以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。
販売店(工事店)にご相談ください。

天井からの出しろが
22mmの配線器具



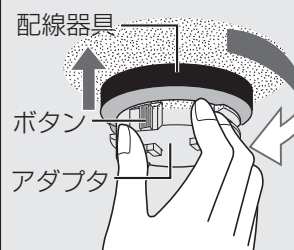
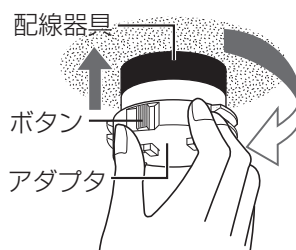
天井からの出しろが
11mmの配線器具



1

天井の配線器具にアダプタを取り付ける。

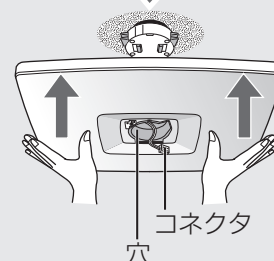
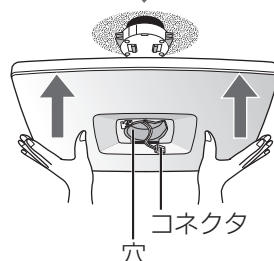
- ① 位置を合わせる。
(金属のツメ2本を配線器具のスライド穴に合わせる)
- ② アダプタを「カチッ」と音がするまで、時計回りに回して取り付ける。



本体を取り付ける。

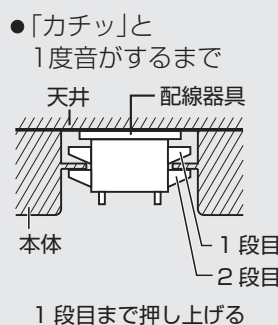
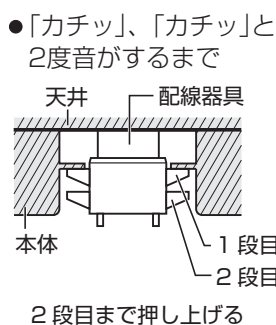
- ① コネクタを本体中央の穴に通す。
- ② 「カチッ」と音がするまで本体を押し上げる。

※必ず両手で支えるようにして、持ち上げてください。

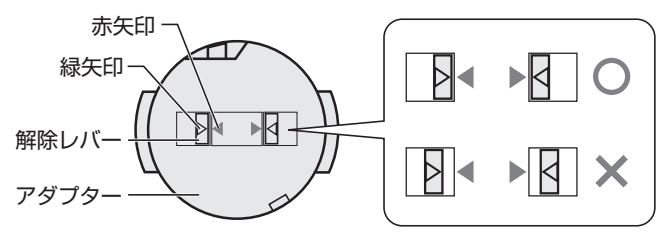


2

●アダプタの本体取付位置
横から見た図



※解除レバーの緑の矢印の先端がアダプタの赤い矢印の先端にくるまで本体を押し上げてください。



注意

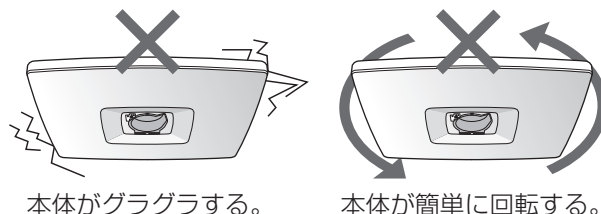
 センターカバーは確実に取り付ける

【落下してけがのおそれ】

3

確認 本体が正しく取り付けられているか確認する。

正しく取り付けられていない場合は、8ページの手順③を見て取りはずしてから6ページの手順②を再度おこなってください。



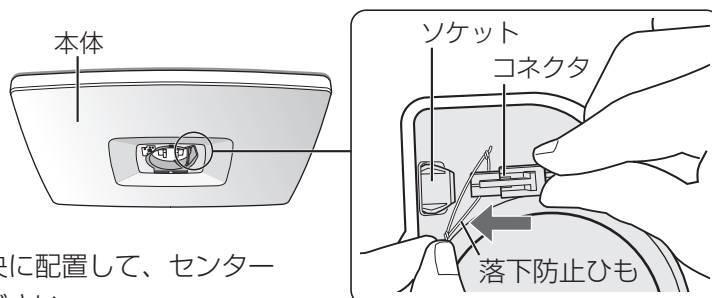
4

コネクタをソケットに差し込む。

センターカバーの落下防止ひもの端の輪をコネクタに通し、コネクタを「カチッ」と音がするまで、確実に差し込む。(ロックがかかっていることを確認してください)

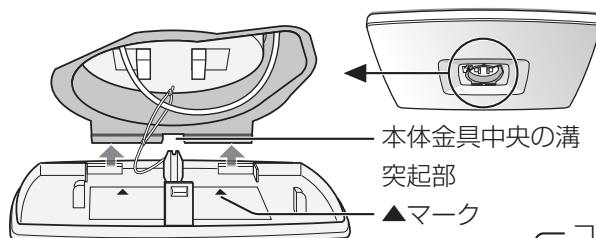
※コネクタケーブルと落下防止ひもは中央に配置して、センターカバーにはさみこまないようにしてください。

※コネクタが確実に挿入されていないと、発煙・発火のおそれがあります。

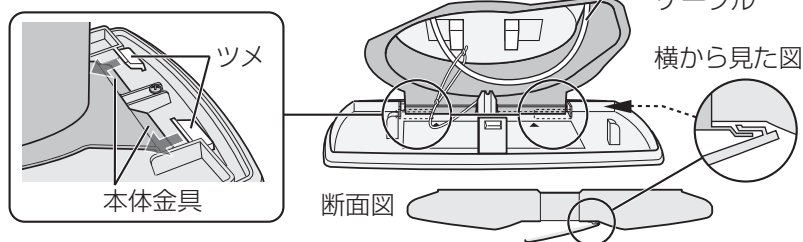


センターカバーを取り付ける。

① センターカバー裏側の2カ所の▲マークの中央にある突起部を本体金具中央の溝に当てる。

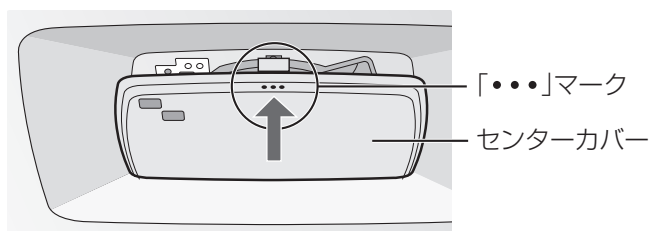


② センターカバーを奥から手前に滑らせ、ツメを本体金具に噛み合わせる。



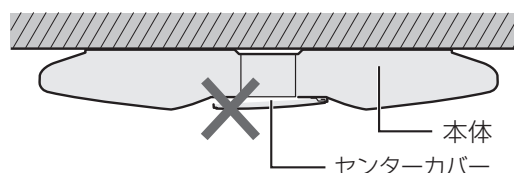
5

③ センターカバーの「...」マークを「カチッ」と音がするまで、押し上げ確実に取り付ける。



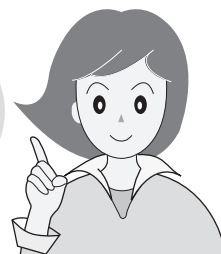
確認 センターカバーが水平に取り付けられていることを確認してください。

水平でない場合は、センターカバーを取りはずし、①～③を再度おこなってください。「...」マークを軽く引き下げて、センターカバーを本体の外側に向けて滑らせるとはずれます。



照明器具を取りはずす

安全のために
電源を切って
から取りはず
しをおこなっ
てください。「切」



取りはずし手順

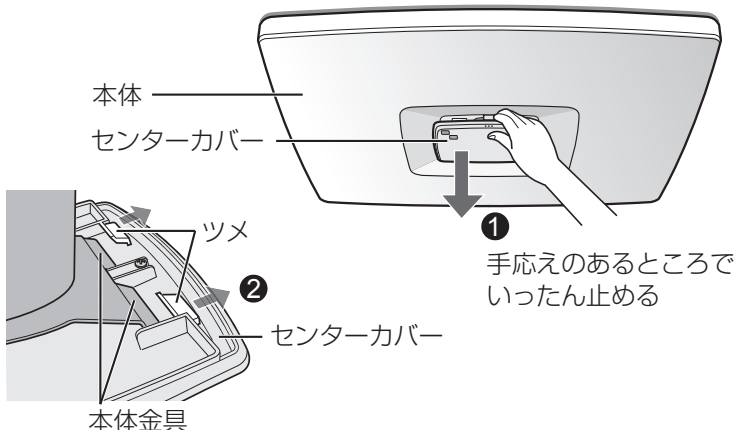
1

センターカバーをはずす。

① センターカバーの「・・・」マーク部を指でつまんで、静かに引き下げてはずす。

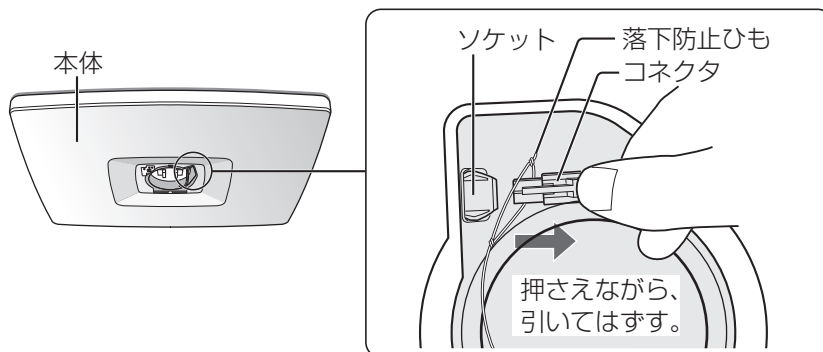
② センターカバーを奥に滑らせ、ツメを本体金具からはずす。

※センターカバーの取りはずしは、電源を切って、十分に時間が経ってからおこなってください。(やけどのおそれがあります)



2

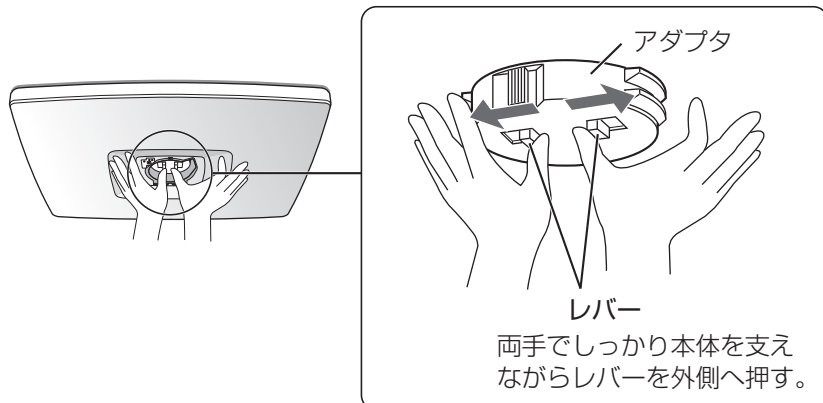
コネクタをはずし、落下防止ひもからコネクタをはずします。



3

アダプタのレバーを外側に押して、本体をはずす。

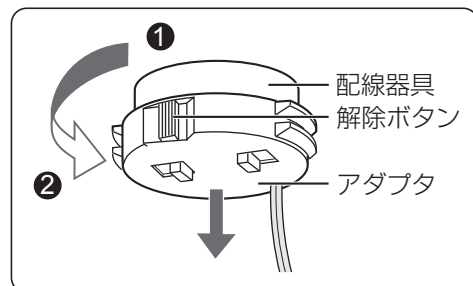
※本体をしっかりと持った状態で取りはずしてください。(本体が落下して、ケガの原因 になります)



4

アダプタをはずす。

① 解除ボタンを押しながら、
② 反時計回りに回す。



あかりをつける・消す

リモコンで本体を操作する

壁スイッチは「入」の状態にしてください。

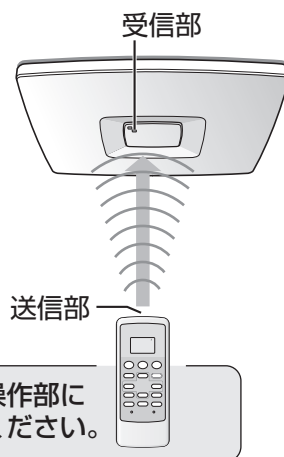
常夜灯用LEDが点灯します。
(暖色)
点灯中に押すと、明るさが
切り替わります。(14 ページ)

消灯します。



好みの明るさ／光色で
点灯します。

調光10 (100%)の
明るさで点灯します。



リモコンを本体操作部
に向けて操作してください。

信号を受けると受信音がします

受信音	お知らせしている内容
ピッ	点灯するとき。操作を受け付けたとき。
ピー	消灯するとき。

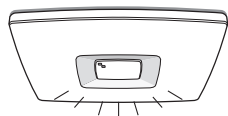
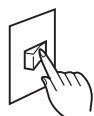
ご注意

- 次のような場合に、リモコンの明るさ調節(明るく／暗く)、光色調節(寒色／暖色)ボタンが効かないときは、リモコンの全灯ボタンを一度押してください。
 - ・ お買いあげ後、初めて器具の取り付けをしたとき
 - ・ 壁スイッチで、点灯したとき
 - ・ リモコンの信号が届かないところで、消灯ボタンを押したとき

壁スイッチで本体を操作する

点灯

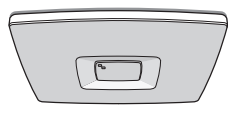
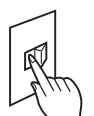
「入」



記憶している「前回の明るさと光色」で
点灯します。

消灯

「切」



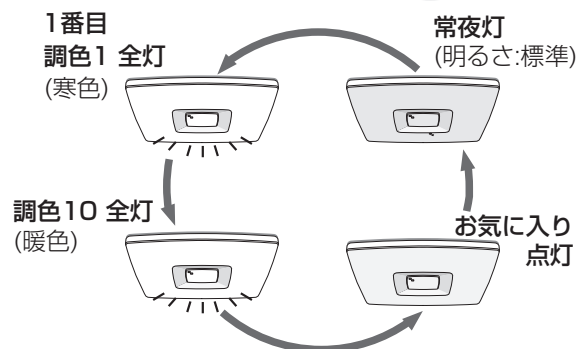
「現在(消す直前)の明るさと光色」を
記憶して消灯します。

ただし、おやすみリズム中に消灯した場合は、
調色1(寒色)全灯で点灯します。

点灯状態を切り替える

点灯状態で壁スイッチを素早く(約2秒以内)
入→切すると、点灯状態が下図のように
切り替わります。

スタートは必ず、
調色1 全灯(寒色)に
なります。



エコセンサー

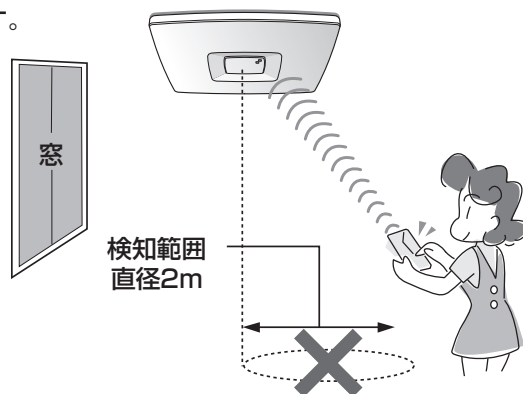
外光などを検知して、自動で余分な明るさを抑えて点灯

環境登録する（エコセンサーを初めてお使いになるとき）

エコセンサーをはじめてお使いになるときは、必ず環境登録をおこなってください。
登録が正しくおこなわれないと省エネ効果が得られない場合があります。

登録時のご注意

- 設定は、必ず夜間に（外光が入らない環境で）おこなってください。
- 右図のように、本体から約2m離れておこなってください。
- お部屋の中にある他の照明は、常時点灯させている場合を除いて消してください。
- お好みの明るさにした状態で環境登録をおこなってください。





1 全灯

2 明るく 暖色 寒色 暗く

3 環境登録 LED照明

1 全灯

2 明るさ、色を選ぶ。

3 先の細いもので、環境登録ボタンを押す。

約5秒後

登録完了

一度環境登録すると、電源を切っても記憶しています。

環境登録中は、リモコン操作はできません。環境登録中に壁スイッチを「切」にすると設定はできません。

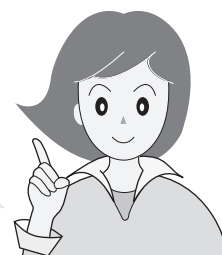
環境登録中(約5秒間)は、「ピーピー、ピーピー、ピーピー」とブザー音が鳴ります。

ご注意

下記の場合は、再度環境登録をおこなう必要があります。

- テーブルやカーテンなどの配置や色を変えたとき
- お部屋の照明を変えたとき

初めて使うときは先に
環境登録をしてください。
(10 ページ)



エコセンサーのオン／オフ



オン
オフ

オン



ボタンを押すごとに、切り替わります。

- 「エコセンサー1」(センサーの感度※：高)
- 「エコセンサー2」(センサーの感度：中)
- 「エコセンサー3」(センサーの感度：低)

※エコセンサー1は、環境登録時の明るさを維持するように調光します。
エコセンサー2、3では明るめに微調整できます。

ご注意

「ピッピッ」とブザー音が
鳴ったときは、環境登録
がおこなわれていません。
環境登録をおこなって
ください。(10 ページ)

おすすめはエコセンサー1
です。(1～3の中で最も
省エネになります)

オフ



ご注意

- エコセンサーオンの状態で、消灯または常夜灯ボタンを押したときは、エコセンサーオンの設定を記憶しています。再び全灯ボタンを押すと、エコセンサーがオンになります。
- エコセンサーオンで点灯中に、全灯、明るく、暗く、寒色、暖色ボタンを押すと、自動的にエコセンサーはオフになります。

エコ調光

目の順応特性を考慮してゆるやかに照度を落とします



オン
オフ

オン



エコ調光の表示が消えます。

オフ

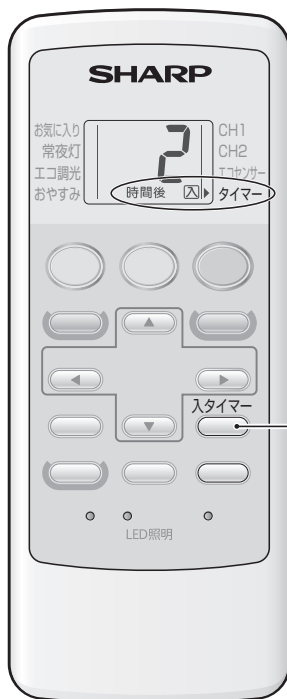
設定中に
エコ調光

ご注意

- 消灯してもエコ調光の設定は保存されます。
- 常夜灯、おやすみリズムのときはエコ調光を利用できません。

タイマー機能

入タイマー、切タイマー



オン
オフ

入タイマー設定

例 「2時間後」に入りたいとき

入タイマー



入タイマーボタン
を4回押す。



0.5時間後から10時間後までは0.5時間
刻みで、10時間後から23時間後までは
1時間刻みで設定できます。
設定したい時間に合わせた後、約4秒経
つと設定完了です。

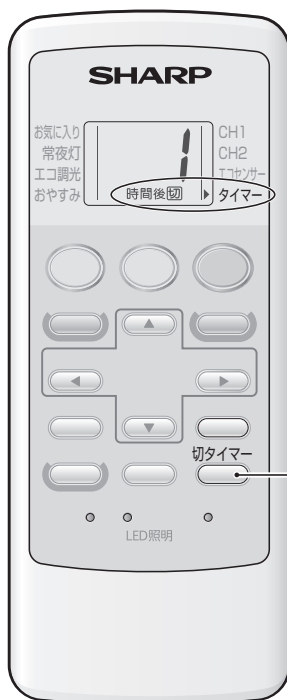
設定中に(設定が確定し、液晶画面に数字が表示されなくなった状態で)

オフ

入タイマー



入タイマーボタンを押す。



オン
オフ

切タイマー設定

例 「1時間後」に切りたいとき

切タイマー



切タイマーボタン
を2回押す。



0.5時間後から10時間後までは0.5時間
刻みで、10時間後から23時間後までは
1時間刻みで設定できます。
設定したい時間に合わせた後、約4秒経
つと設定完了です。

設定中に(設定が確定し、液晶画面に数字が表示されなくなった状態で)

オフ

切タイマー



切タイマーボタンを押す。

で注意

- リモコンを本体に信号が届く位置に置いてください。
- リモコン信号が本体に届かない場合、タイマーが実行されないことがあります。
(一度でも壁スイッチを「入」、「切」したとき、停電があったときなど)
- 入タイマーと切タイマーを同時に設定することもできます。

おやすみリズム

おやすみまで自動で調光をおこないます

明るさをおさえた暖色で点灯し、徐々に暗くしていきます。

- 自動調光の時間は30分と1時間が選択できます。
- 自動調光が終了した後、常夜灯にするか、消灯させるかを選択できます。



おやすみボタンを押す。

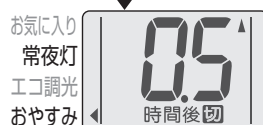


おやすみリズムのパターンを選択

パターンを切り替えるには、3秒以内に再度おやすみボタンを押してください。



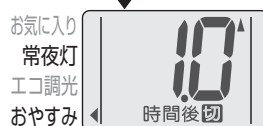
30分かけて自動で調光し、
その後に常夜灯にする。



30分かけて自動で調光し、
その後に消灯する。



1時間かけて自動で調光し、
その後に常夜灯にする。



1時間かけて自動で調光し、
その後に消灯する。

設定したいパターンに合わせた後、約4秒経つと設定完了です。

オフ

設定中に(設定が確定し、液晶画面に数字が表示されなくなった状態で)



おやすみボタンを押す。

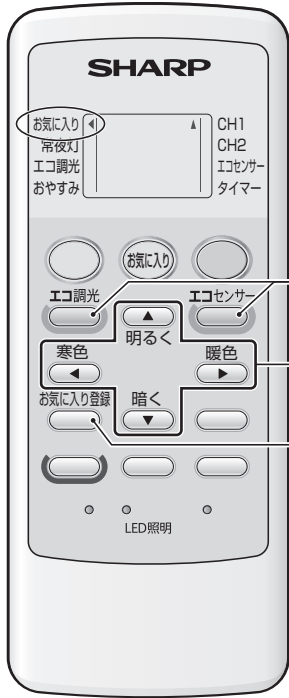
ご注意

- おやすみリズム運転中は、エコ調光、エコセンサーボタンは効きません。
- おやすみリズム運転中は、明るく・暗く、寒色・暖色の調光、調色操作はできません。
- おやすみリズム運転中は、お気に入り登録することはできません。
- おやすみリズム運転中に、壁スイッチを「切」にして、「入」にすると、調色1(寒色)全灯で点灯します。

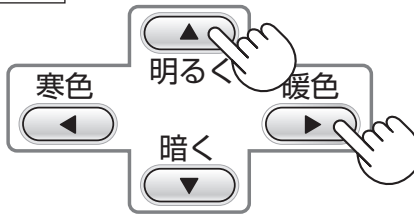
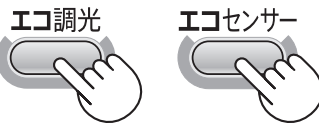
便利な機能

お気に入り登録／お気に入り

好みの明るさと光色の点灯状態を記憶できます。エコ調光とエコセンサーの設定も合わせて記憶できます。



登録する

- 1  照明を登録したい明るさと光色にする。
- 2  エコ調光、エコセンサーをお好みの設定に変更する。(任意)
- 3  お気に入り登録ボタンを押す。

点灯する

- 1  お気に入りボタンを押す。



お気に入り
常夜灯
エコ調光
おやすみ

2回点滅します

- ご注意**
- 常夜灯、おやすみリズムの状態では、登録ができません。
 - お気に入り点灯中に、全灯、明るく、暗く、寒色、暖色ボタンを押すと、エコセンサーは解除されます。エコ調光は維持されます。

常夜灯の明るさを調節する

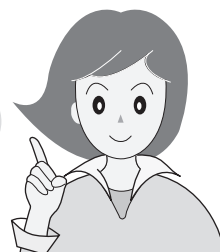


- 1  常夜灯ボタンを押し、常夜灯を点灯する。
- 2  お好みの回数、常夜灯ボタンを押し、明るさを調節する。
押すごとに、次のように切り替わります
→標準→明るめ→暗め→

- ご注意**
- 常夜灯点灯中は、明るく、暗くボタンは無効です。明るさの調節は、上の手順でおこなってください。
 - 変更した明るさは、消灯したり、点灯状態を切り替えても、設定が記憶されています。
 - 常夜灯の明るさは、リモコン表示部では表示されません。
 - 本体の点灯切替ボタン(3ページ)、壁スイッチ(9ページ)で常夜灯に切り替えた場合は、明るさ：標準になります。

お手入れ

お手入れの前に、必ず
電源を切ってください。



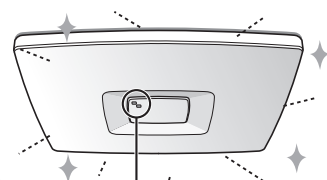
定期的にお手入れしてください

明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃してください。

- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。



次のものは使わない（製品を傷める原因）



センターカバーの透明窓

- センターカバーの透明窓が汚れると、エコセンサーの感度が低くなることがあります。
- リモコンの送信部は定期的に汚れをふき取ってください。
ほこりなどにより、汚れるとリモコンが効きにくくなります。



仕様

形 名	DL-C503V	DL-C303V	DL-C203V
使用電圧	100V		
周波数	50／60Hz共用		
消費電力	73W	48W	32W
光 色	寒色～暖色		
リモコン	液晶リモコン		

本機は50Hz、60Hzいずれの地域でもご使用できます。
転居により電源周波数が変わっても、部品の取り替えや調整の必要はありません。

待機時消費電力の削減について

この製品は壁スイッチ「入」で本体コネクタをソケットに差し込んだ状態では電子回路を動作させるために、約0.25ワットの待機時消費電力を消費しています。

愛情点検



長期で使用的場合は商品の自主点検を
おすすめします。

こんな症状はありませんか？

- スイッチを入れても、ときどき点灯しないことがある。
- 本体や配線部品を動かすと点滅する。
- こげくさい臭いがする。
- 点灯時に漏電ブレーカーが動作することがある。
- 器具取付部などに変形、ガタツキ、ゆるみなどがある。

ご使用中止

故障や事故の防止のため、電源を切り、
必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売
店に、ご相談ください。

- 左記症状以外でも不具合があれば、
販売店などの専門家にご相談くださ
い。

故障かな？

こんなとき		お調べください	参照 ページ
照明機能	点灯しない。	● 壁スイッチが「切」になっていませんか？ ⇒ 壁スイッチを「入」にしてください。 ● コネクタが確実に接続されていますか？ ⇒ コネクタが確実に接続されているか確認してください。	9 7
	操作していないのに点灯(消灯)するのですが？	● 瞬時停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り換わった可能性があります。一度リモコンもしくは壁スイッチ操作で点灯モードを切り換えてください。	—
	エコセンサー機能を使用中、外の明るさが変わらないのに本体の明るさが変わります。	● 近くで他の照明を点灯させた場合や、本体の直下に新聞紙などを広げたとき、本体の直下に長時間人が立ったときなどに照明が暗くなることがありますが、正常な動作です。	—
その他	リモコンが効かない。	● リモコンの電池が消耗していませんか？ ⇒ リモコンの電池を新しいものに交換してください。 ● リモコンの電池が正しく入っていない。 ⇒ リモコンの電池が正しく入っているか確認してください。 ● リモコンと本体のチャンネルが合っていない。 ⇒ リモコンのチャンネルと本体のチャンネルが合っていることを確認してください。	4 4 5
	タイマーが動作しない。	● 壁スイッチで消灯していませんか？ ⇒ タイマーを設定するときは壁スイッチで消灯しないでください。 ● 信号が届く範囲にリモコンがありますか？ ⇒ タイマー起動時にリモコンから本体に信号が届く範囲に置いてください。	— —
	お気に入り登録ができない。	● 常夜灯、おやすみリズムでの点灯中は、お気に入り登録できません。	—
	エコセンサーが動作しない。	● センターカバーの透明窓が汚れていませんか？ ⇒ 汚れている場合エコセンサーの感度が低くなることがあります。 お手入れ(15 ページ)に従って、清掃してください。	—

修理依頼やお問い合わせの前に、
もう一度調べてください。



こんなとき	お調べください	参照 ページ
本体からジーという音が出ます。	●LEDに流れる電流の「入／切」制御により調光していることに依ります。正常な動作です。	—
特殊なメガネ(3Dテレビ用など)をかけて、本体を見るとちらつく。	●故障ではありませんが、特殊なメガネ(3Dテレビなど)で本体を見ると、ちらついたように見える場合があります。 ⇒目の疲れや体調不良などの原因になることがありますので、特殊なメガネ(3Dテレビ用など)をかけたまま、本体を見ないでください。	—
カメラで写真や動画に本体を写し込むと、縞模様が出る。	●LEDに流れる電流の「入／切」制御により調光していますが、カメラの撮影方式によっては、この電流の変化が光の明暗として映り込む場合があります。正常な動作です。	—
リモコンで消灯しても停電後に勝手に点灯する。	●壁スイッチが「入」になっていませんか？ ⇒あらかじめ停電が想定される場合は、壁スイッチを「切」にしてください。 リモコンで消灯した状態で停電した場合は、消灯直前の状態で点灯する仕様です。(リモコン操作では、停電復帰を消灯にすることはできません) 壁スイッチを「切」できない(壁スイッチが無い)場合は、停電の事前に常夜灯にして、リモコンで消灯しておくことをおすすめします。 ⇒停電からの復帰後、常夜灯で点灯します。 (消費電力を少なくできます)	—
停電後にリモコンの表示と本体の動作が違う。	●停電後、本体の設定は壁スイッチを「切」にした場合と同じ設定になります。 詳しくは、各ページをご覧ください。 ・エコセンサー (10～11ページ) ・おやすみリズム (13ページ) これらの機能を停電後に利用するときは、リモコンで再度設定してください。	—

その他

ご使用上に関するお知らせ (故障ではありません)

本体の留意点／注意点

- 点灯中や消灯直後、プラスチック伸縮によるきしみ音(ピシッ、パキッ)が本体から発生することがあります。
- 非常に短い停電があると、点灯状態が変わることがあります。

周囲の影響

- 本体の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 近すぎる場所にあるリモコン機器のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

故障かな？

よくあるご質問

ご質問	お答えします	参照 ページ
Q 常夜灯の調光はできますか？	A ●常夜灯点灯中に、常夜灯ボタンを押すと明るさが切り替えられます。	14
Q 本体で点灯モードを切り替えられますか？	A ●本体の点灯切替ボタンで切り替えられます。ボタンを押すたびに、「全灯寒色(調光10調色1)」、「全灯暖色(調光10調色10)」、「お気に入り」、「常夜灯(明るさ：標準)」、「消灯」に切り替わっていきます。	3
Q 1台のリモコンで、複数の本体を操作できますか？	A ●1台のリモコンで、複数の本体を操作できます。 ※本体と本体の間隔が狭い場合は、チャンネルを別々にして個別操作することもできます。	5
Q なぜ「環境登録」しないといけないのですか？	A ●お部屋の明るさは家具の色や配置により異なる場合があります。「環境登録」でお部屋の明るさを測定し、適切にエコセンサーを利用するために必要な登録です。	10
Q 人感スイッチと組み合わせて使えますか？	A ●人感スイッチについては仕様が適合しない場合がありますので、ご注意ください。	—
Q 調光器で使えますか？	A ●使用できません。	—
Q 温度が低いところでも使えますか？	A ●使用推奨温度は5～35℃です。0℃以下でも点灯しますが、低温・防水仕様ではありませんので、結露が起こる環境では使用しないでください。	—
Q 温度が高いところでも使えますか？	A ●使用推奨温度は5～35℃です。35℃以上でも点灯しますが、高温によるLEDの劣化の原因になります(寿命が短くなります)ので、使用には適しません。	—
Q 調色の範囲／段階は？	A ●可変領域は「暖色～寒色」で、「10段階」に切り替えられます。	—
Q 調光して光量を絞った場合、消費電力は小さくなりますか？	A ●消費電力は小さくなりますが、明るさと比例して小さくなるわけではありません。	—
Q 「寿命」はどのような基準で決められていますか？	A ●本製品の「設計寿命」《約40,000時間》は、光束が70%に低下するまでの時間です。 ※寿命は設計値です。保証値ではありません。	—
Q 何年くらい使えますか？	A ●1日10時間の使用で、約10年(約40,000時間)使えます。	—
Q 廃棄するときはどうすればいいですか？	A ●産業廃棄物扱いになります。廃棄方法は自治体毎に異なりますので、お住まいの地方自治体の規定に基づき処分願います。	—
Q LEDの交換はできますか？	A ●本体の分解修理が必要ですので、点検を依頼してください。お客様自身での交換はできません。	—

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理を依頼されるときは

出張修理

- 1 「故障かな?」「よくあるご質問」を調べてください。(16~18ページ)
- 2 それでも異常があるときは使用をやめて、必ずコネクタをはずしてください。
- 3 お買いあげの販売店に、次のことをお知らせください。

・品名：LEDシーリングライト
 ・形名：(本書の表紙に記載の形名)
 ・お買いあげ日(年月日) ・故障の状態(具体的に)
 ・ご住所(付近の目印も合わせてお知らせください)
 ・お名前 ・電話番号 ・ご訪問希望日

便利メモ お買いあげの際に記入されると便利です。
 販売店名
 電話 () 年 月 日
 お買いあげ日

この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。また、アフターサービスもできません。

保証期間中

- 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- 修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

保証書(一体)

- 保証期間… お買いあげの日から1年間です。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、LEDシーリングライトの補修用性能部品の製品の製造打切後、6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、**お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。**

電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。



メールでのお問い合わせなど【シャープサポートページ】

<http://www.sharp.co.jp/support/>



使用方法のご相談など【お客様相談センター】



0120 - 50 - 8562

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間

(年末年始を除く)

●月曜～土曜：9:00～17:00
 (平日のみ)

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話	FAX
06 - 6792 - 1582	06 - 6792 - 5993
〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72	



修理のご相談など【修理相談センター】



0120 - 02 - 4649

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間

(年末年始を除く)

●月曜～土曜：9:00～20:00
 ●日曜・祝日：9:00～17:00

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

	IP電話	FAX
東日本地区	043 - 299 - 3863	043 - 299 - 3865
西日本地区	06 - 6792 - 5511	06 - 6792 - 3221
沖縄地区	「那覇サービスセンター」098 - 861 - 0866 (月～金9:00～17:40)	

持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口でも承っております。

地区別窓口

■受付時間(祝日など弊社休日を除く)

*月曜～土曜：9:00～17:40

(ただし、沖縄地区)は……*月曜～金曜：9:00～17:40

北海道	●札幌 サービスセンター 011-641-4685 〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17	●京都 サービスセンター 075-672-2378 〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町48
東北	●仙台 サービスセンター 022-288-9142 〒984-0002 仙台市若林区御東3-1-27	●神戸 サービスセンター 078-452-7009 〒658-0025 神戸市東灘区魚崎南町4-12-6
関東	●宇都宮 サービスセンター 028-637-1179 〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41	●阪神 サービスセンター 06-6422-0455 〒661-0981 尼崎市猪名寺3-2-10
	●さいたま サービスセンター 048-666-7987 〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-107-2	●大 阪 テクニカルセンター 06-6794-5611 〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
	●東東京 サービスセンター 03-5692-7765 〒114-0013 東京都北区東田端2-13-17	●恵美須 サービスフロント 06-6643-5321 〒556-0003 大阪市浪速区恵美須西1-2-9
	●多 摩 サービスセンター 042-548-1391 〒190-0023 立川市柴崎町6-10-17	●南大阪 サービスステーション 072-431-1950 〒597-0062 貝塚市澤1215
	●千葉 サービスセンター 043-298-5681 〒262-0013 千葉市花見川区横橋町1629-4	●北大阪 サービスステーション 072-634-4530 〒567-0831 茨木市鮎川5-15-3
	●横浜 サービスセンター 045-753-4647 〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23	●奈良 サービスステーション 0743-53-6693 〒639-1186 大和郡山美濃庄町492
中部	●静岡 サービスセンター 054-344-5781 〒424-0067 静岡市清水区島田1170-1	●中国 広島 サービスセンター 082-874-8149 〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
	●名古屋 サービスセンター 052-332-2623 〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5	●四国 高松 サービスセンター 087-823-4901 〒760-0065 高松市朝日町6-2-8
	●金 沢 サービスセンター 076-249-2434 〒921-8801 石川郡野々市町御経塚4-103	●九州 福岡 テクニカルセンター 092-572-4705 〒812-0881 福岡市博多区井田2-12-1
		●沖縄 那覇 サービスセンター 098-861-0866 〒900-0002 那覇市曙2-10-1

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2011.05)

MY家電登録のご案内

詳しくはホームページで →



人と家電と暮らしをつなぐ、シャープの会員サイト

SHARP i CLUB

<http://iclub.sharp.co.jp/m/>

SHARP i CLUBは、お客様がご愛用のシャープ製品について、便利な使い方や、製品のサポート・サービス、キャンペーンなど、一人ひとりに合ったサービスをご利用いただける会員様向けサイトです。

ぜひ、ご登録ください。

お問い合わせ先

お問い合わせの前にもう一度「よくあるご質問」(18ページ)
「故障かな?」(16ページ) をご確認ください。

パソコン



メールでのお問い合わせなど
【シャープサポートページ】

シャープ お問い合わせ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/>

お電話



使用方法のご相談など
【お客様相談センター】



0120-50-8562

※詳しくは、取扱説明書19ページをご覧ください



修理のご相談など
【修理相談センター】



0120-02-4649

※詳しくは、取扱説明書19ページをご覧ください

シャープ株式会社

本
健康・環境システム事業本部

社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
〒581-8585 大阪府八尾市北竜井町3丁目1番72号